



納得感で生産性が向上する柔軟な働き方の実現

テレワークソリューション ご説明資料

株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト



社員が幸せに働ける
「働き方改革」を成功させる答えとは？

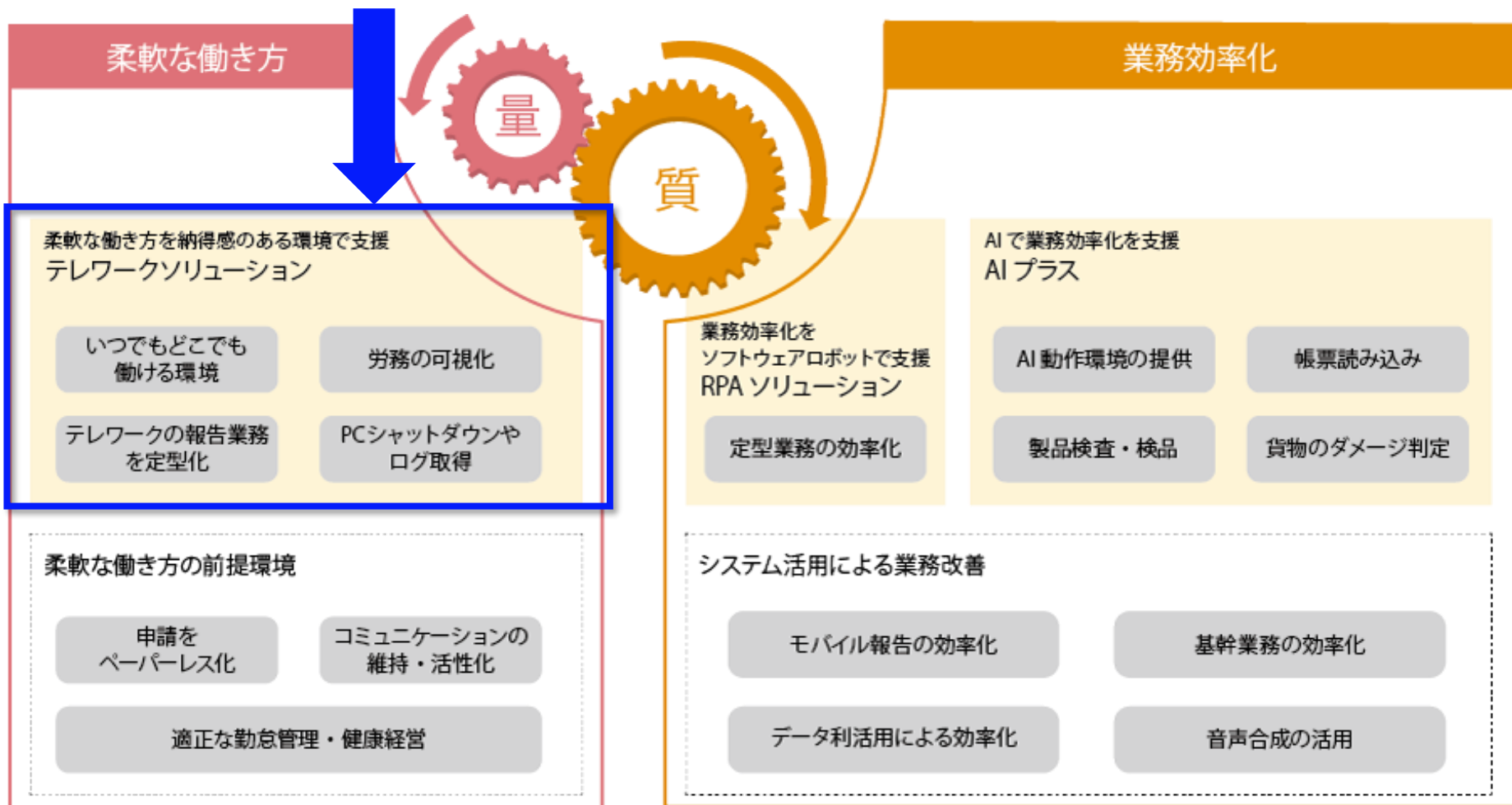


働き方改革は、「柔軟な働き方」「業務効率化」の両方を
実現しながら進めていく事が重要です。

当社は、働き方改革を加速させる2つの要素＝両輪を、
ITソリューションの活用により支援いたします。

働き方改革を加速する両輪を構成するソリューション

本資料の対象



Contents

1. テレワークの概要と導入効果
2. テレワークソリューションのご紹介

1. テレワーク概要と導入効果



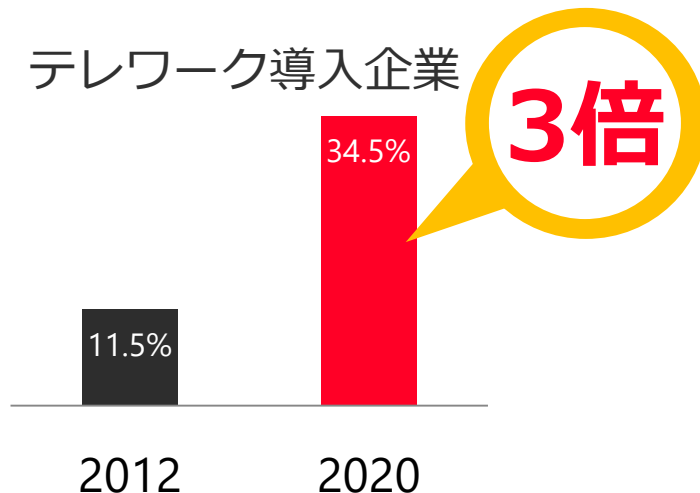
ICT を活用した場所にとらわれない

柔軟な働き方

制約のある人が
働けるようになることで
労働市場拡大に期待

2020年にむけた政府目標

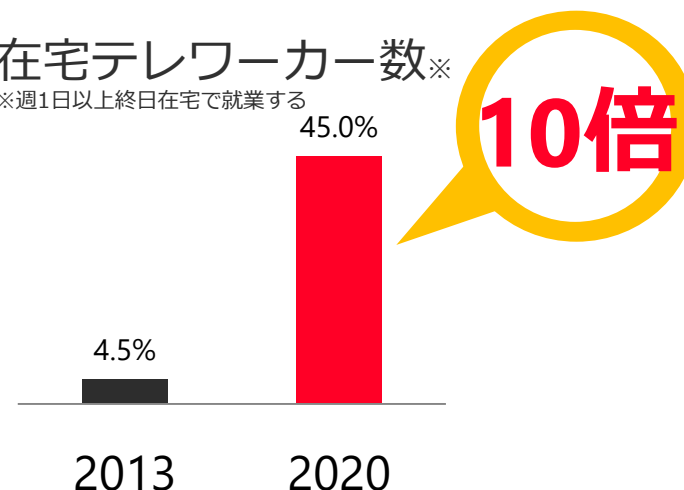
テレワーク導入企業



高い目標

在宅テレワーカー数※

※週1日以上終日在宅で就業する



テレワークデイ・月間の設定

東京オリンピックの開会式予定日7月24日に企業のテレワークを推奨
11月を推進月間に設定

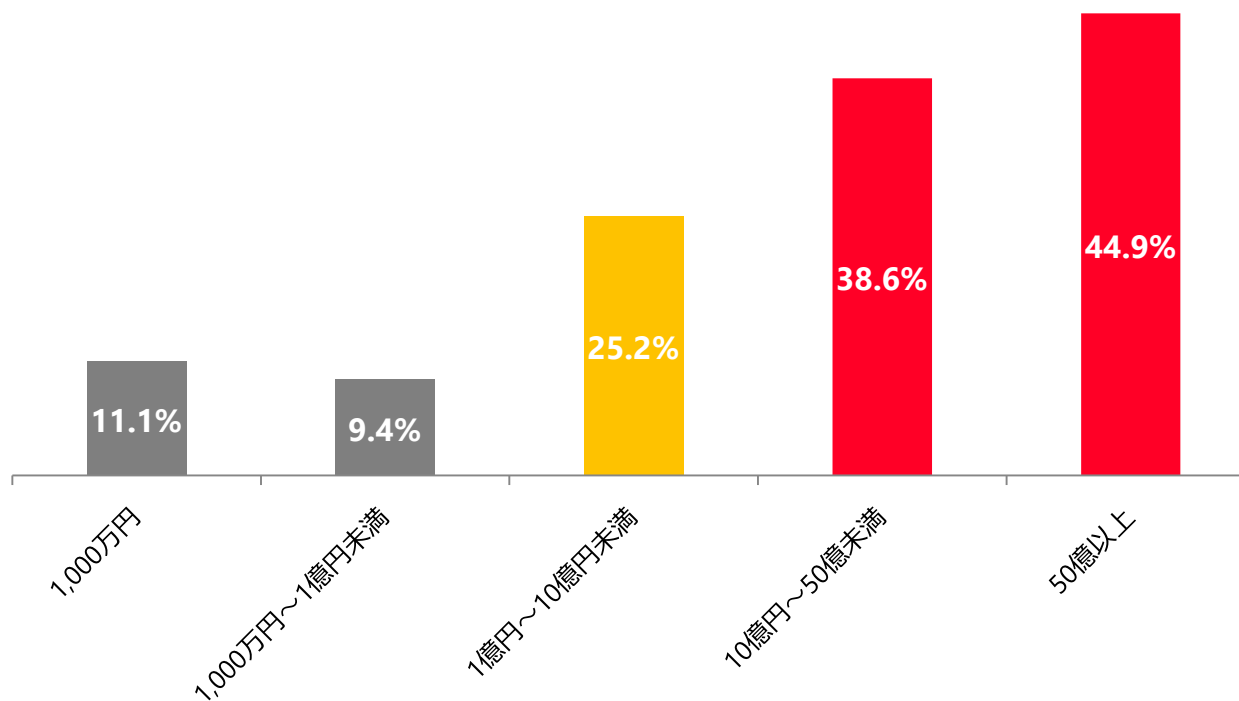


普及促進

各種助成金による推奨



普及推進

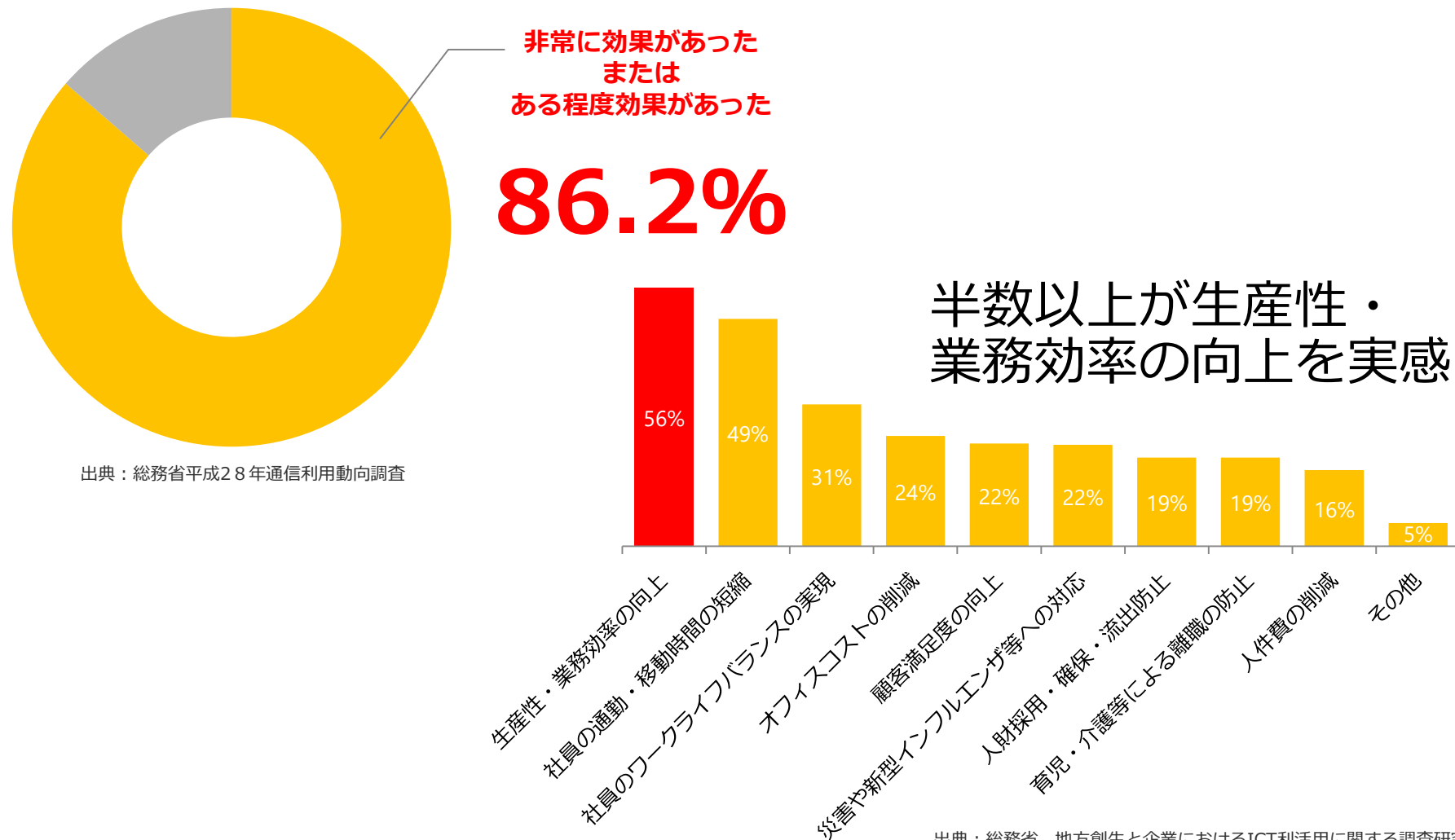


出典：総務省平成27年通信利用動向調査

年商1億以上の企業の**25%**以上、

年商10億以上の企業の約**40%**以上で導入済

導入企業の86%以上が効果があったと回答



出典：総務省 地方創生と企業におけるICT活用に関する調査研究

2017年1月

在宅勤務・サテライトオフィスの試用開始

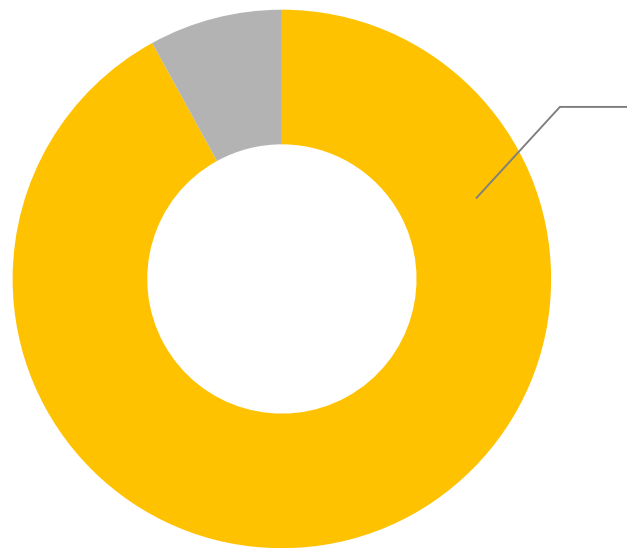


効果測定・制度検討

2017年6月

タイム&ロケーションフリーワークが正式に制度化

在宅勤務・サテライトオフィスだけでなく
勤務場所の制限を緩和しカフェなど柔軟に勤務可能



通勤・移動時間の
短縮に効果があった

92%

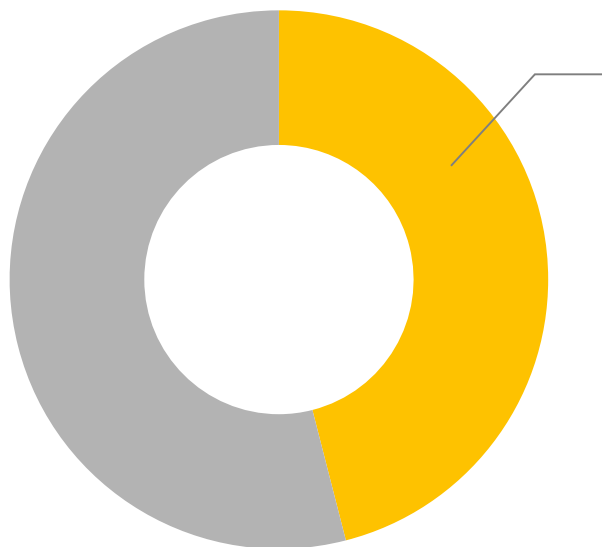
テレワーク実施者の通勤時間

平均往復**2.4**時間



作業時間の拡張
ワークライフバランスの実現
交通費の削減

出典：株式会社日立ソリューションズ・クリエイト実績



静かな環境で
集中力が向上した

46%

導入前からの残業削減率

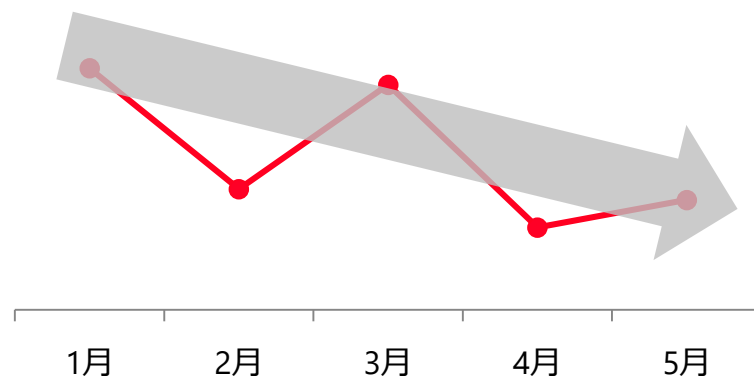
26%

導入前 導入後

テレワーク導入前後の
平均残業時間

残業時間は減少傾向

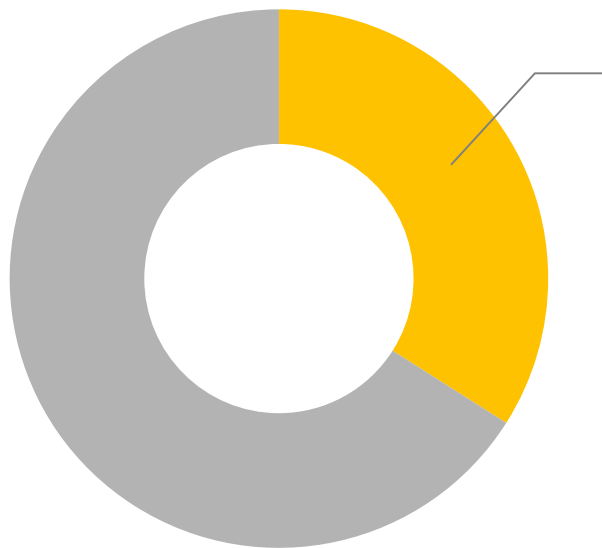
→継続した**生産性向上**



テレワーク実施者の残業時間

出典：株式会社日立ソリューションズ・クリエイト実績

© Hitachi Solutions Create, Ltd. 2018. All rights reserved.



子育てや介護
でも両立できた

34%

- 介護をしながら働けた
- 子供が病気でも在宅で働けたので仕事を休む必要がなかった
- 子供の学校行事参加による年休取得を減らすことができた（半休または1～2時間の私用外出で対応可能）
- 家族がインフルエンザで出勤停止となったが年休を取得せずに看護と仕事を両立することができた



▼

離職防止に効果を発揮
人財確保にも有効に作用

出典：株式会社日立ソリューションズ・クリエイト実績

「そばにいない」ためおきる不安のスパイラルで導入が停滞する

進捗管理や評価がしづらい・・・
在宅部下の管理能力が問われる・・・

➡ 自分の部下には出来れば出社して欲しい



サボっていると思われていない？
成果を気にして働きすぎてしまう・・・

➡ 不安になるなら会社で働いた方が安心



「そばにいない」から「見えない」をソリューションで **「見える化」**

管理者と従業員の双方に **「納得感」** が深まり **「生産性向上」**

納得感【なっとくかん】

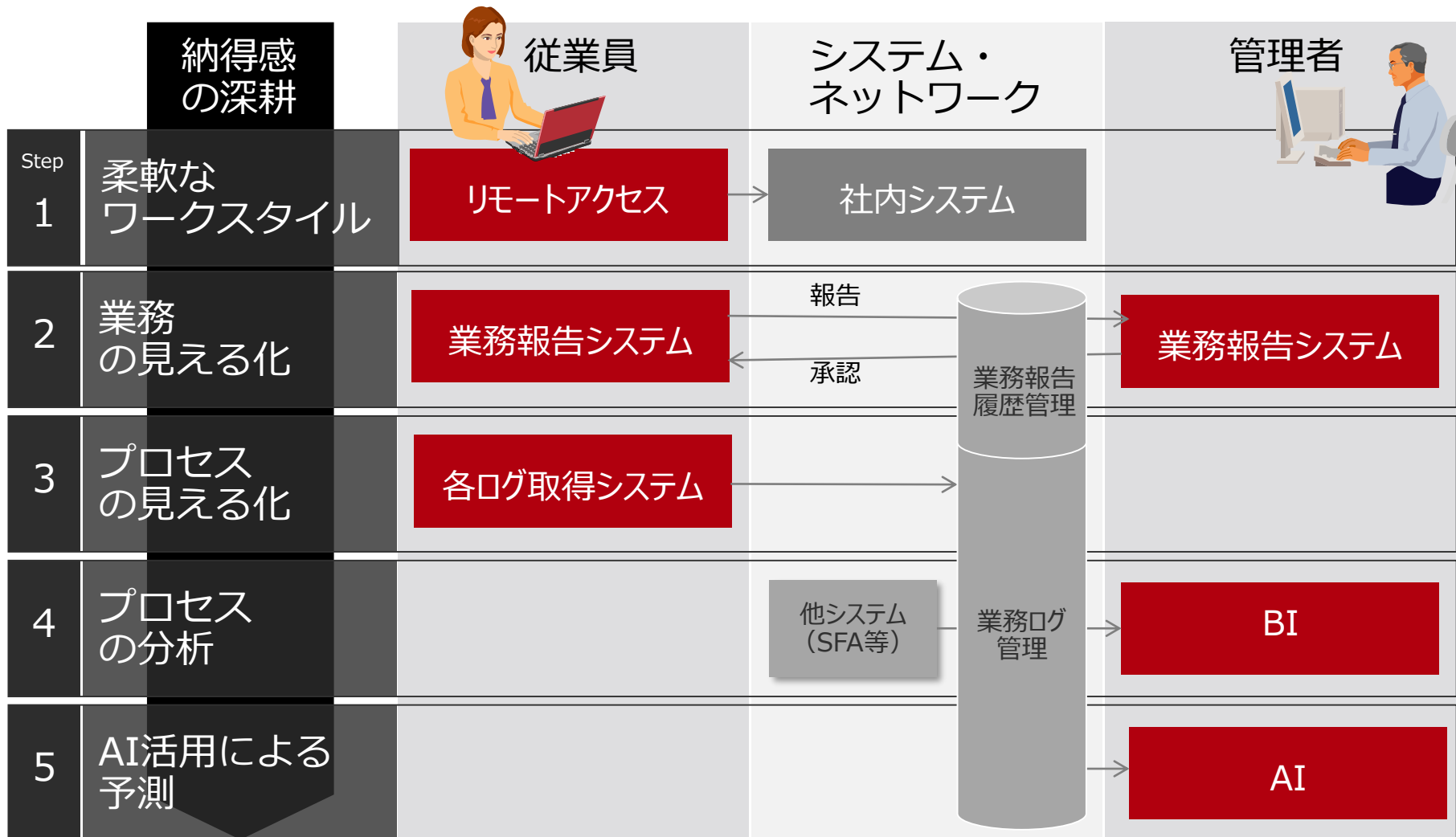
他人の考え・行為を理解しもっともだと認め、理解より深く同意した状態。
納得感は労働者がモチベーションを誘引するインセンティブとして重要であり労働生産性向上につながる。



2. テレワークソリューションのご紹介

2-1 テレワークソリューション導入ステップ

組織に必要な納得感に応じて段階的・部分的に導入可能



課題

セキュリティや環境、費用がネックとなりオフィスでしか仕事ができない

解決

リモートアクセスを活用することでどこでも働けるワークスタイルを実現

テレワーク導入時の課題

リモートアクセスシステム  **D@Mobile** で解決

管理者

サーバやパソコンなどの機器購入に導入費用の高額化が心配



月額1,500円/1ユーザからのASPサービス
手持ちのPC、タブレットをBYODとしても活用可能

PCの紛失やウィルス感染などセキュリティが不安



リモート端末は画面転送だけでデータ保存不可
ウィルスに狙われにくい仕組みを実現

従業員

効率的な作業のため自宅でも会社のファイルサーバやシステムを利用したい



自宅で会社のデスクトップ環境を利用可能
セキュアに生産性を落とさず作業

在宅だと成果を示しづらくかえって過重労働になってしまう



リモートアクセス接続可能時間帯を設定可能
深夜の作業禁止により長時間労働を是正

課題

テレワークではコミュニケーションが低下し作業状況が把握できない

解決

報告・承認プロセスのシステム化により業務の見える化を実現

作業状況が把握できない環境

従業員が正しく評価して貰えるか？
管理者が正しく評価出来るか？不安

不安解消には
オフィス勤務以上に詳細な報告要

作業状況が把握できる環境

評価に対し従業員と管理者が共に納得
適切な管理・監督
孤独感の解消

業務報告システム



活用により詳細な報告環境を

簡易に構築可能

	従業員	管理者
開始前	作業計画を報告	指摘・修正依頼
終了後	進捗・時間等報告	確認・指摘・承認

承認機能を標準搭載
繰返すことで納得感も向上



タブレットやスマホでいつでもどこでも報告可能な仕組

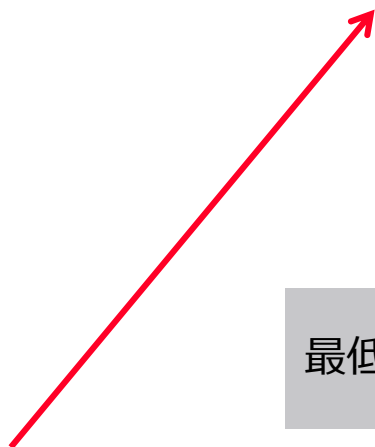
課題

テレワークの業務報告は主観的な情報に頼るため説得力に欠ける

解決

ログを活用しプロセスを見える化することで客観情報により納得感が向上

納得感向上



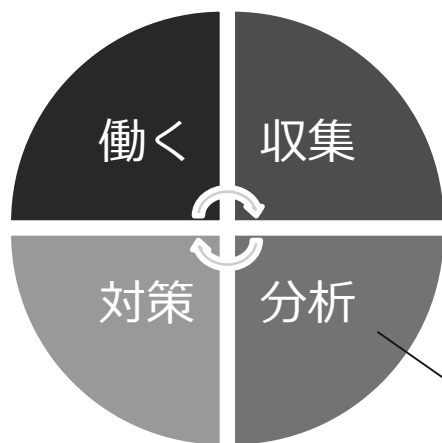
	取得ログ	製品名
高度な作業見える化	アプリケーションログ 不正監視ログ 画面キャプチャ	Illegal View
時間の正確な見える化	GPS等による打刻時刻 (客観打刻情報)	客観ログ取得 ソリューション 人事総合ソリューション LYSITHEA リシテア
最低限の作業見える化	ログオン・オフ時刻 キー・マウス操作ログ	長時間残業改善 ソリューション
業務の見える化	業務報告内容 報告・承認時刻	快作レポート+
テレワーク環境	接続・切断時刻	DC Mobile

課題

残業時間の是正は生産性を向上しないと作業がオーバーフローしてしまう

解決

収集したログを分析しPDCAを進めることで組織全体の生産性向上を実現



働き方改革で想定されるログ分析

納得感ある評価

業務報告から時間当たりの処理件数を算出することで生産性を判断（ベンチマーク化）

キーボードやマウス操作のログから作業の妥当性を判断

生産性の向上

業務報告やログオン・オフログから稼働率を算出し作業平準化の必要性を判断

業務・業種に応じたKPIを算出し生産性向上の施策を実施

Step4 生産性向上を目標としたKPI（例）

各種ログを活用することで生産性の具体的な分析を実施しPDCAを可視化可能

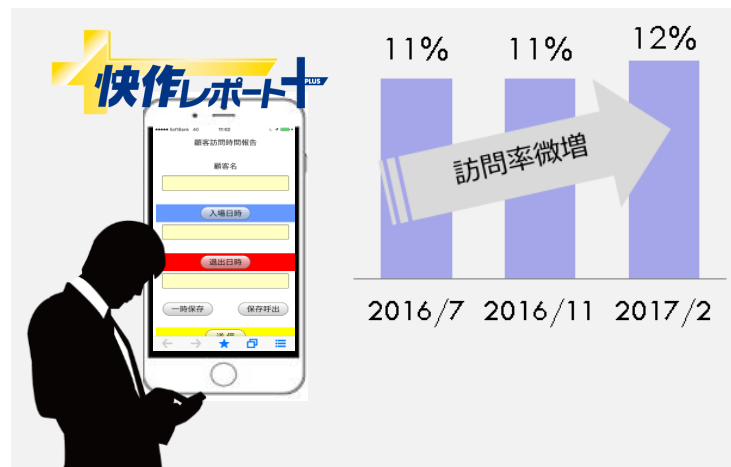
業種	モバイル	在宅	KPI	参照ログ
営業	●		訪問時間率	訪問時間（快作レポート+）／総労働時間（リシテア）
	●		受注効率	受注額（販売管理）／総労働時間（リシテア）
研究・開発		●	特許出願効率	総労働時間（リシテア）／特許出願数（快作レポート+）
システム開発		●	開発生産性	開発ステップ数／労働時間（リシテア）
顧客サポート		●	平均処理時間	総労働時間（リシテア）／処理件数（快作レポート+）
企画・調査	●	●	企画効率	総労働時間（リシテア）／企画採用数（快作レポート+）
販売・サービス		●	会員獲得率	会員数／総労働時間（リシテア）
経理・会計		●	月次決算処理時間	月次決算総労働時間（リシテア）／月次決算処理日数
人事・労務・総務		●	人財採用効率	総労働時間（リシテア）／採用人数

営業の働き方改革の進捗状況を独自に調査・分析

➡ 働き方改革の効果を「折衝率向上」等の視点で分析・PDCAを実施予定

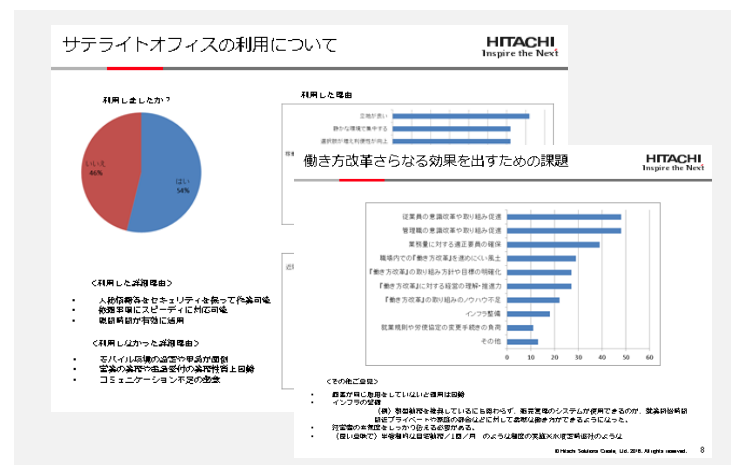
サテライト活用による訪問時間増減調査

施策に関する実行効果を測定
 訪問時間率の増加 = 受注増加となるか
 検証を継続実施中



働き方改革に係わる独自アンケート

施策単位にメリット・デメリットを調査
 デメリットの解決提案等に活用



課題

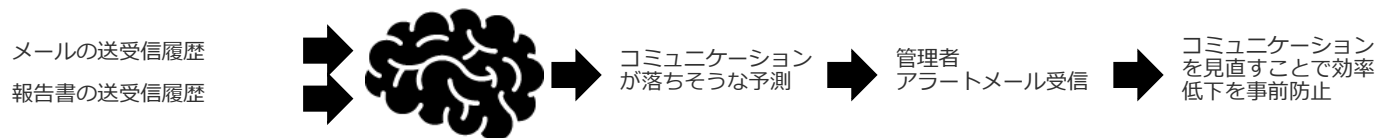
業務が多忙で事前に生産性低下を察知できないので働き方改革が進まない

解決

AIを活用し収集した情報から有効な予測を実施し働き方改革を推進

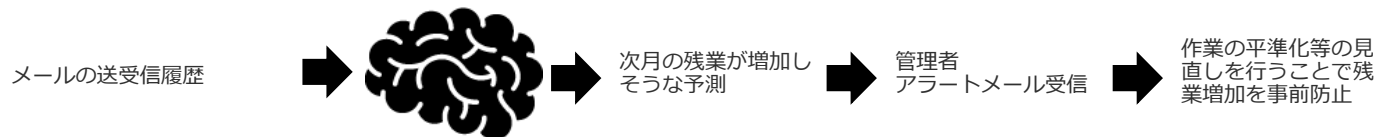
【各種ログを解析しコミュニケーションの活性度を予測】

テレワークは、疎外感がありコミュニケーションが低下する可能性があります。各種ログをディープラーニングしコミュニケーションが低下しそうな予測をすることで、コミュニケーション低下による効率の低下や離職率の上昇を事前に防ぐことが可能となります。



【メール送受信履歴を活用した残業予測】

テレワークは、作業進捗がつかみづらいので作業者の残業予測も難しくなります。メールの送受信履歴等、その業務に相関を及ぼす業務をディープラーニングし次月の残業を予測することで、作業の平準化等の施策を打つことが可能となります。



営業員のテレワークを 情報システム部の負荷を最低限におさえ実現



課題

- 全社で働き方改革を推進する中でまず営業業務効率化を検討
- 情報システム部は負荷が高く導入にあたり作業時間を割けない

解決

- 営業は外出先で作業可能となり直行直帰可能な業務改善を実現
- 情報システム部の作業負荷がほばない状態での導入を実現

● これまでの営業員の働き方

パソコンを持ち出すことが出来ないことによりオフィスに戻る必要

- ・ システムによる見積作成等の作業は社内で行い印刷して持ち出す必要がある
- ・ メールチェックをするために会社へ一度戻らないといけない

● 導入後の営業員の働き方

外出先で作業を推進することで直行直帰による効率化を実現

- ・ 取引先との実績データチェックや見積作成を訪問前に社外で実施しタブレット提示
- ・ メールは外出先でチェック、その場で回答

● サービス型の導入により情報システム部の負荷を最低限で実現

機器導入による導入は、情報システム部に以下のような作業が発生し負荷が増大します。

- ・ 設計・サーバ構築・クライアント構築等の初期導入工数
- ・ 人事異動によるアカウント追加等の作業工数
- ・ サポートや機器保守等の運用工数

DoMobile ASP サービスでの導入により情報システム部はサポートの一次回答のみ対応。

- ・ サービス型なので初期導入工数は不要！クライアントインストールのみ。
- ・ アカウント追加・削除は専用窓口で受付し当社へ依頼
- ・ 情報システム部はサポート受付と一次回答を担当

当社での導入のポイント

**コスト
パフォーマンス**

情報システム部の運用負荷も含めたコストを検討した結果からサービス型での導入により早期に柔軟な働き方を実現

**国内
の安心**

DoMobileは当社が2002年より提供している歴史あるソフトで安定したサービスであること、国内サーバで運用していることから継続的な利用が出来る

テレワークは各種助成金を受けることが可能です。
当社HPにも情報公開しておりますので是非ご活用ください。

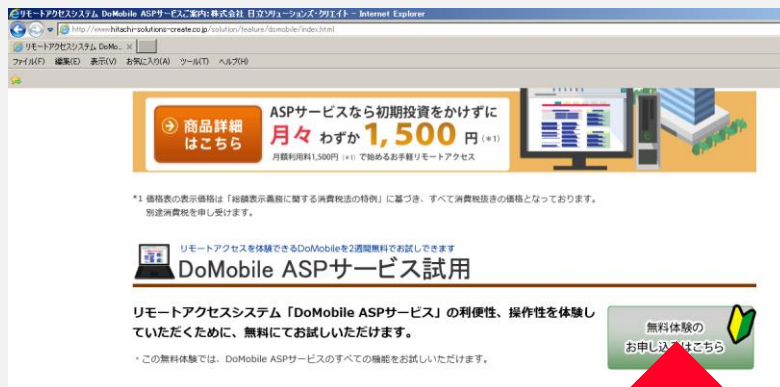
The screenshot shows a web browser window displaying the Hitachi Solutions Create website. The page title is "助成金・税制に関して:株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト". The URL is "http://www.hitachi-solutions-create.co.jp/solution/jyosei/index.html". The page content includes a navigation menu with "ソリューション・商品" selected, and a breadcrumb trail "サイトトップ > ソリューション・商品 > 助成金・税制に関して". The main heading is "助成金・税制に関して". Below it, there is a sub-heading "中小企業経営強化税制（旧生産性向上促進税制）" followed by a paragraph explaining the tax system. A link "中小企業経営強化税制（旧生産性向上促進税制）の詳細についてはこちら >" is provided. Another sub-heading is "女性の活躍推進等職場環境整備助成金", followed by a paragraph explaining the support for women's employment. A link "女性の活躍推進等職場環境整備助成金の詳細についてはこちら >" is provided. At the bottom of the main content area, there is a button "お問い合わせ、資料請求はこちらから". On the right side of the page, there is a sidebar with a "お問い合わせ" section containing a phone number "0120-954-536" and a "Webからのお問い合わせ" section with a "お問い合わせ フォーム" button.



無償で20日間の試用を受け付けています。

当社HPの「無料体験版はこちら」から申込み

<http://www.hitachi-solutions-create.co.jp/solution/feature/domobile/index.html>



テレワークの評価、試験運用等に活用下さい！

株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

電話でのお問い合わせ

0120-954-536

受付時間 10:00～17:30 月曜日～金曜日（祝日、当社休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

hsc-contact@mlc.hitachi-solutions.com

■他社商品名、商標などの引用に関する表示

- ・「快作レポート+」「DoMobile」は、株式会社 日立ソリューションズ・クリエイトの登録商標です。
- ・「Illegal view」は、株式会社 ケイティティエス の登録商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■サービス・製品の仕様に対する表示

本資料に記載しているサービス・製品の仕様は、2018年5月現在のものです。

サービス・製品の改良などにより予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

■お問い合わせ情報について

ご相談、ご依頼いただいた内容は、回答などのため、
当社の関連会社（日立ソリューションズグループ会社）および
株式会社日立製作所に提供（共同利用含む）することがあります。
取り扱いには十分注意し、お客さまの許可なく他の目的に使用することはありません。